
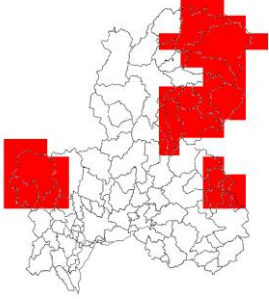


ヒメスギラン	<i>Huperzia miyoshiana</i> (Makino) Ching	絶滅危惧 I 類
		ヒカゲノカズラ科
選定理由	もともと生育地および個体数が少ないうえ、生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫に絶えずさらされていると判断される。愛好家による園芸採取も多い。	写真(村瀬正成)
形態の特徴	茎は短く這い、基部は叉状に分岐するが、直立茎はあまり分岐せず頂部に芽をつける小型の常緑性シダ。	
生態的特徴	岩上、樹幹、地上に生育する。	
分布状況	北海道から九州までの高山、亜高山に分布する。岐阜県では県北部に分布の中心があるが、県南部の一部にも産地がある。	
減少要因	森林伐採、治山工事、道路工事等により生育環境が失われる危険性が高い。愛好家による採集圧も考えられる。	
保全対策	生育地の保全、周辺地区の環境維持に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成